

中野市立博物館 年報 7

2023（令和 5）年度

刊行にあたって

博物館運営の年度ごとの状況に関しては、従来から年刊の「教育要覧」等で記録化してきている。これらは教育委員会所管事業のまとめとして、博物館の社会教育的・統計的側面を主としている。しかし、博物館活動は多方面において過去を継承したうえで、それを新たに発展させることが基礎となっている。そこで従来の不足を補い、将来へ伝えるべきアーカイブとして年報を発刊することにした。できれば、将来、「紀要」的側面も付加して充実をはかりたい。

なお、収蔵資料目録の公開方法は別途考慮している。

< 目 次 >

I	博物館の概要	1
1	沿革	
2	施設概要	
3	館外施設	
	館略図	2
II	組織	3
1	博物館協議会	
2	令和5年度組織・職員	
III	展示	4
1	展示室	
2	水彩画展示室	5
3	企画展	
4	プラネタリウム	
5	エントランス展示	
IV	講座等	6
1	講演会	
2	学芸員講座	
3	市民主体の講座	7
4	館外講座	8
5	体験講座	
V	資料	9
1	収蔵・展示する指定文化財	
2	資料利用	10
VI	運営・利用実績	
1	運営	
2	入館者・利用者	11

I 博物館の概要

1 沿革

一本木公園内の歴史民俗資料館（1981 年建築、468 m²）を移転して、2009 年 4 月に市立博物館が発足し、展示室は同 5 月 1 日から公開している。

施設は文化公園（都市計画課所管）内の「創造館」（展示・研修・休憩施設、1991 年開館）を改修したものである。展示室以外は従前の基本設備を踏襲しており、博物館としての機能面で十分でない点がある。

また、水彩画展示室・展望室・休憩室等はそのまま無料エリアとして受け継ぎ、公園施設としての機能も果たしている。

柳沢遺跡出土品（重要文化財）の受け入れに伴い、2012 年から展示室の一部を大改修して保存・展示環境を整え、2014 年から指定品の収蔵展示室として公開している。

旧歴史民俗資料館は一本木公園内で美術品等の展示館（文化スポーツ課所管）として利用されている。

2 施設概要

R C 3F 延床面積 2,007.78 m²

展示室 2 室 計 594 m²、研修室 3 室 計 128 m²、プラネタリウム 133 m²（100 席）、収蔵庫 83 m² 2 層（考古・古文書・民俗・歴史資料）、展望室 44 m²（3F）
ほか （次ページ参照）

※ 収蔵庫は展示資料を主に、寄贈・寄託品・県埋蔵文化財センター移譲資料等を収蔵

3 館外施設

・収蔵庫（敷地内） L S 2F 延床面積 119.08 m²

図書資料・文化財行政資料等を収蔵している。

・旧中野高校(仮)

地域住民により収蔵された旧豊井小学校民俗資料館の収蔵資料のほか、旧永田小学校の収蔵資料やその後に博物館が収集した旧永田小学校の収蔵資料を含めた民俗資料を収蔵している。

また、2019 年まで平野倉庫に収蔵していた埋蔵文化財 1,000 箱を収蔵。

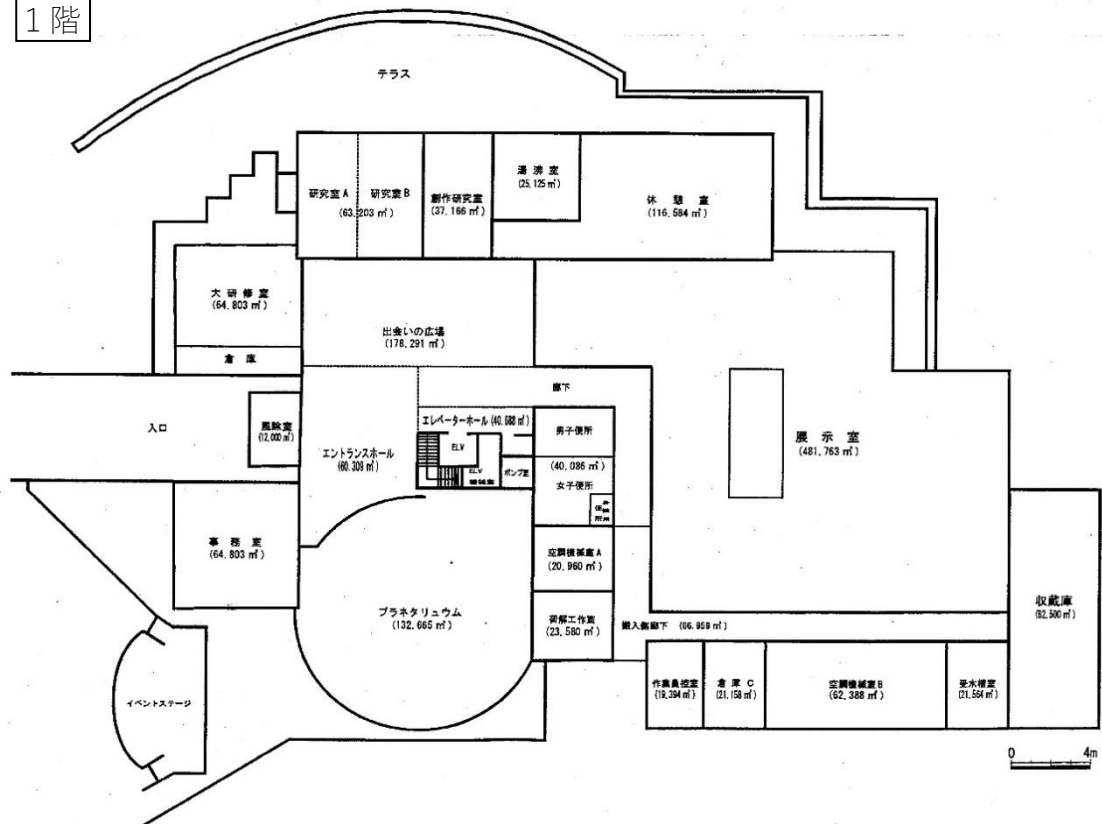
旧中野高校解体を控えて、2023 年度末に旧倭小(北校舎 2 階 3 教室・体育館ピロティ)に移動した。

・上記のほか、館外収蔵として、

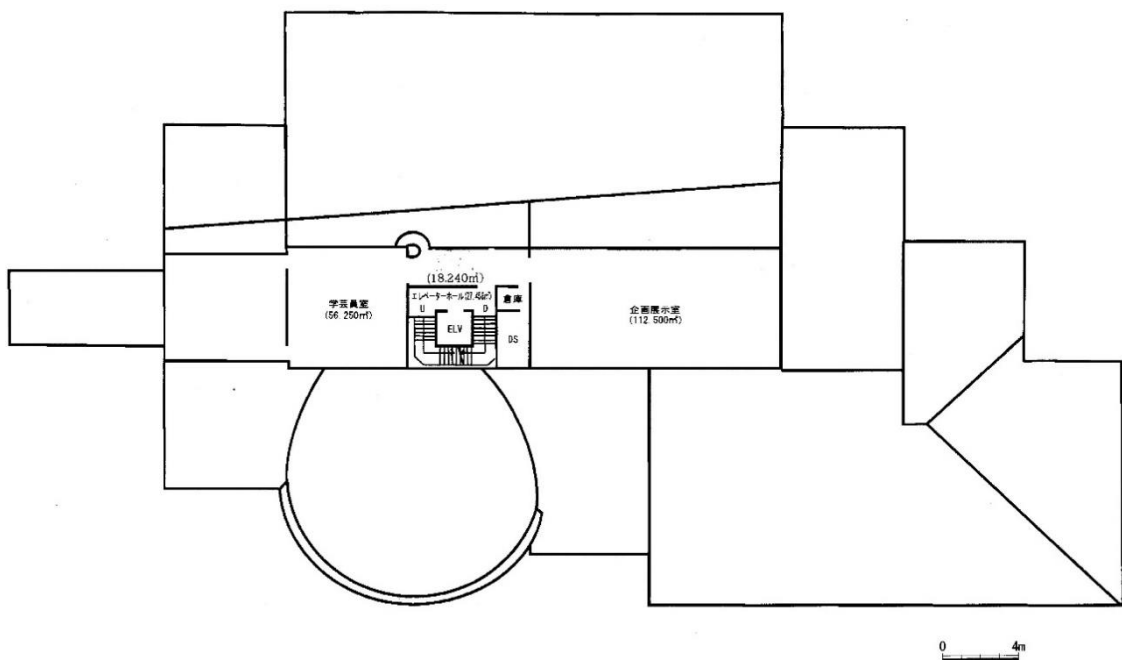
考古資料 1 か所（一本木倉庫 300 m² 埋蔵文化財 5,000 箱）

民俗資料 1 か所（一本木展示館 民俗資料 1,909 点）

1 階



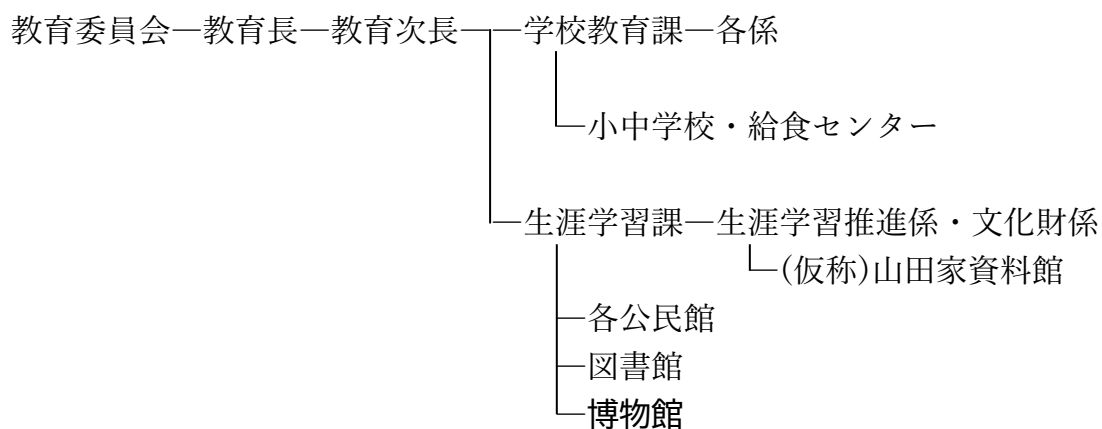
2 階



Ⅱ 組織

- 1 博物館協議会 任期2年（令和4年6月1日～令和6年5月31日）
- 会 長 大西 浩次(長野工業高等専門学校教授) 学識経験者(天文学)
- 会長代理 水澤 教子(長野県立歴史館学芸部総合情報課専門主事兼学芸員)
学識経験者(考古学)
- 委 員 岩戸 貞彦(公募)
- 土屋 積(中野市立博物館 前館長) 学識経験者
- 宮下 宏(信濃教育会教科用図書研究部部長) 学識経験者
- 徳武 真弓(日野小学校長) 学校教育関係者
- 山崎 圭(中央大学教授) 学識経験者
- 山田 正子(公募)
- 長張 茂樹(中野市社会教育委員) 社会教育委員
- 湯本 巖(高井地方史研究会会長) 学識経験者 (50音順)
- ・令和5年5月24日(水) 開催

2 令和5年度組織・職員



館 長 (非常勤)	館林 弘毅
副館長	小林 敬子
主 査	大滝 敦士 (生涯学習課文化財係併任)
学芸員	柳生 俊樹 (生涯学習課文化財係併任)
〃 (非常勤)	細野 夏未 (文化スポーツ振興課文化振興係・生涯学習課文化財係併任)
一般職 (非常勤)	関 まゆみ
〃	小林 和広



博物館外観

Ⅲ 展示

1 展示室

自然・原始古代・中世・近世・近代・民俗の6コーナー

柳沢遺跡重要文化財展示収蔵庫・青銅器映像展示

指定無形民俗文化財映像展示コーナー

展示室実物資料(2024. 3. 31 展示中)

	件	点	指定物件	主内容
自然	47	187		動物剥製・昆虫標本
原始古代	58	661	ナウマンゾウ化石 2(市) 土偶 1(市)・弥生土器 2(市)・ 高遠山 18(県)	化石・土器・石器・金属 器・玉
須恵器窯跡	10	53		須恵器・窯体
中世	16	82	鉦鼓 1(県)・埋納銭容器 1(市)	土器・陶磁器・金属器
近世	15	19		文書・絵図・版本
近代	3	23		彫刻・絵画・焼物・民具
民俗	36	97		民具(生活・生産・信仰)
柳沢展示収蔵庫	7	264	柳沢 212(国)	青銅器・土器・石器・玉
合 計	177	1386	238	

2 水彩画展示室

旧創造館では、故西沢今朝夷氏の一括寄贈を受け、水彩画展示室を設置していた。それを受け、年間2回（6月・11月）の展示替で水彩画展示（文化スポーツ課所管）を継続するとともに、他の展示にも一部を利用している。

令和5年度も前年度に引き続き、水彩画展『ふるさとの記憶』のほか、『大西浩次 星景写真展』を実施し、ともに途中入れ替え展示をしている。

無料エリアのため、正確な観覧者数は把握できない。

（水彩画11点・星景写真7点 2024.3.31 展示中）

3 企画展

・春季企画展『明治初期の村絵図 150年前の信州中野Ⅰ』

会 期	4月29日(金)～6月30日(月)
主な展示品	明治初年の中野地域の村絵地図を展示
開館日数	55日
観覧者数	520名

4 プラネタリウム

・年間投影番組

『クレヨンしんちゃん星空と学校の七不思議だゾ』	(株)D&D ピクチャー
『アステリアと星の道しるべ』	CLUTCH BASE
『ヤドカリくん、ほしをみに』	CLUTCH BASE
『見えない宇宙に挑む』	(合)アルタイル
『ゆるり星空めぐり 星のいろいろ』	(合)アルタイル
『ナナとハチ～ちきゅうにおちてきたネコのものがたり～』	(株)リブラ
『星座解説～春・夏・秋・冬～各編』	(株)リブラ

・デジタル投影ソフト ステラドーム・プロ (株)アストロアーツ

・一般投影

土・日・祝日	1日3回	11:00	13:30	15:00
--------	------	-------	-------	-------

・期間投影

大型連休中	4月29日(土)～5月7日(日)	296人
夏季期間投影	8月11日(金)～8月20日(日)	335人
冬季期間投影	12月27日(木)～1月8日(月)	96人
春季期間投影	3月23日(土)～3月31日(日)	117人

・年間投影日数： 153日 投影回数： 352回

・【後援事業】 プラネタリウムコンサート「星のラブソング ～時が揺れた」

＜プランクリエ・ミュージックアートプロジェクト主催＞

10月21日(土) 参加者 83人

5 エントランス展示

エントランス活用のひとつとして、幅広い年齢層の来館者に向け民俗資料の展示を行った。実際の資料に触れる展示を展開することで、歴史や民俗への興味・関心を促し、調査・研究、整理、保存のあり方を見直したりする機会とした。

- ・会 期； (4月1日(土))～4月16日(日)
テーマ； 「消防と灯り」
主な展示品； 雲竜水(手力水)、小型龍吐水、纏、手りゅう弾消火器、拍子木、行灯、ランプ、カンテラ など
- ・会 期； 4月22日(土)～8月31日(木)
テーマ； 「食のいとなみ」
主な展示品； かまど、茶箱、ちゃぶ台、製麺機、貸徳利 など
- ・会 期； 9月16日(土)～12月15日(金)
テーマ； 「はかり」
主な展示品； 竿(棒)ばかり、携帯用竿ばかり、台ばかり、天秤ばかり、鯨尺、一斗枰、一升枰 など
- ・会 期； 12月16日(土)～(令和6年3月31日(日))
テーマ； 「あつまれ！ 天神掛軸」
主な展示品； 天神掛軸(天神・金太郎・紫式部・汐汲み・神功皇后・官女・牛若丸 など)

IV 講座等

1 講演会

- ・ 『中野市立博物館発 138 億光年宇宙の旅 ーつながっている宇宙・社会・いのちー』 (天文講演会)
講 師： 縣 秀彦(国立天文台 天文情報センター准教授)
期 日： 8月12日(土) 94人
- ・ 『鉄器からみる弥生時代か古墳時代前期の北信』 (考古学講演会)
講 師： 鈴木 崇司(駒澤大学大学院生・日本学術振興会特別研究員 DC2)
期 日： 9月23日(土) 25人

2 学芸員講座

【学芸員と学ぶ講座】

- ・ 『古文書にみる江戸時代の中野』
担 当： 大滝 敦士 学芸員
4月19日(水)～3月20日(水)
全12回 延べ67人

- ・ 『考古学で探る中野のまちの系譜』
担 当： 柳生 俊樹 学芸員
4月21日(金)～2月16日(金)
全10回 延べ49人

3 市民主体の講座

【みんなで研究コース】

- ・ 『身近な植物から考える中野の自然』
講 師： 清水 照雄
4月22日(土)～2月24日(土)
全11回 延べ98人
- ・ 『中野市の野鳥を科学する』
担 当： 本村 健(学芸員・生涯学習課)
4月15日(土)～3月16日(土)
全10回 延べ130人
- ・ 観望会
講 師： 信州中野天文同好会
5月20日(土)『春のほしぞらをみよう！』 43人
8月12日(土)『夏のほしぞらをみよう！』 94人
11月18日(土)『秋のほしぞらをみよう！』 55人
3月9日(土)『早春のほしぞらをみよう！』 23人
- ・ ふるさとレポート発表会
3月9日(土) 67人
第1部 中野市立日野小学校6年生による地域学習の成果発表
 - ・ 趣旨説明 柳生 俊樹(学芸員)
 - ・ 高遠山古墳について Aグループ3人
 - ・ 森將軍塚古墳について Bグループ3人
 - ・ 真山城址について Cグループ3人
 - ・ 講評 柴本 豊(教育長)
 第2部 中野市立博物館実施の講座参加者による成果発表
 - ・ 講座『身近な植物から考える中野市の自然』に参加して 講座参加者
 - ・ 中野市における渡り鳥の渡来渡去時期について
—2023年度観察記録— 講座参加者
 第3部 生涯学習課・博物館学芸員による成果発表
 - ・ 天然記念物「十三崖のチョウゲンボウ繁殖地」における営巣数の減少と周辺農地面積の関係
本村 健(主査 生涯学習課)

- ・前方後円墳と近代洋風建築 ―新時代を拓く魅惑のハコモノ―
柳生 俊樹(学芸員)
- ・山田庄左衛門家と武家の養子縁組 ―堀内(山田)庄兵衛を事例に―
大滝 敦士(主査)
- ・印刷物にみる人の様相 ―近世・近代を中心に―
細野 夏未(学芸員)

4 館外講座

・講師派遣

5月25日(木) 8名

担当 柳生 俊樹(学芸員)

内容 「柳沢遺跡出土品(特に銅戈・銅鐸)の活用について」 <中野
下高井社会科同好会定例総会における講演>

5月27日(土) 64名

担当 柳生 俊樹(学芸員)

内容 「青銅器祭祀との決別 ―中野市柳沢遺跡の銅戈・銅鐸を考
える―」 <金鷄会館連続公開講座「考古学シリーズ5」講演会第
1回>

9月22日(金) 12名

担当 柳生 俊樹(学芸員)

内容 日野地区「高遠山古墳」の説明と案内 <中野市立日野小学校地
域探検クラブ>

10月23日(月) 9人・10月30日(月) 12人・10月31日(火) 14人・

12月11日(月) 10人

担当 柳生 俊樹(学芸員)

内容 高遠山古墳現地見学案内・真山城址についての解説・真山城址現
地見学案内 <中野市立日野小学校6年生>

11月12日(日) 20名

担当 館林 弘毅(館長)

内容 「柳のある暮らし」の展示資料(当館所蔵)について <結文舎イ
ベント>

5 体験講座

【キッズ・アカデミー】 合計 子ども 106人 おとな 77人

<電子科学系>

・電波ってなあに? ―FMラジオをつくろう!―

7月15日(土) 子ども 8人 おとな 7人

・こどもパソコン「IchigoJam」をつくってみよう!

9月9日(土) 子ども 14人 おとな 6人

・「IchigoJam」メンテナンス相談会

・IchigoJam「LED クリスマスツリー」をつくろう！

・ラインを感知して走るロボットカー！ライントレースカーをつくろう！

・目指そう未来のロボット戦士ーロボット入門ー

延べ参加者 15 名

延べ参加者 8 名

・植物で染める—モモ—

・植物で染める－藍の葉－

・樹脂粘土でつくる古墳時代のかたち

・植物で染める一型染め入門(アカネ)－

・和紙遊びー折染めと和綴じ本ー

・編みを学ぶ

・植物で染める－鉄媒染で染める－

・植物で染める－キハダと大和藍－

【ワークショップ】

合計 33 日 参加者 108 人

・勾玉づくり

7月31日(月) 参加者51人 (信州ふるさと交流団)

10月10日(月) 参加者19名(文化公園オータムフェア)

V 資料

1 収蔵・展示する指定文化財

- ・国重要文化財 『柳沢遺跡出土品』 (銅鐸・銅戈等 212 点)
- ・長野県宝 『高遠山古墳出土品』 (銅剣・銅鏃等)
『鉦鼓』
- ・市指定有形文化財 『土偶』 (1 点)
『弥生式土器』 (1 点)
『ナウマン象臼歯』 (2 点)
『埋納銭及び埋納銭容器』 (銭・木箱・珠洲焼甕等)
『中野町製糸場水車器械略図』
- ・出土品・映像等を収蔵・展示する指定文化財
 - 国史跡 高梨氏館跡
 - 国天然記念物 十三崖のチョウゲンボウ繁殖地
 - 県史跡 栗林遺跡
中野県庁(陣屋)跡
高梨氏城跡(鴨ヶ岳城)
七瀬双子塚古墳
高遠山古墳
 - 市史跡 林畔1号古墳
建応寺跡
金鎧山古墳
 - 市無形民俗文化財 小内八幡神社青獅子 (安源寺)
日和山神社鬼獅子 (草間)
上今井諏訪社太々神楽
赤岩の宣澄踊り
餅かえ行事 (小沼)
赤岩の太々神楽 (高杜神社)
新野の式三番叟 (新野神社)
松川の川崎踊り
大俣の水神祭

2 資料利用

- ・貸出
 - 高遠山古墳出土品(鉄剣ほか 5 点)・安源寺城跡遺跡出土品(壺ほか 5 点)
 - 長野県立歴史館 令和 5 年度夏季企画展「主張する古墳 ～新たなシナノの古墳時代像～」(7 月 1 日(土)～8 月 20 日(日))
 - 民俗資料 10 点(水筒・防衛食器・プロペラ・軍服 ほか)
 - 平和のための信州・戦争展 in 中野開催実行委員会「平和のための信州・

戦争展 in 中野」(8月3日(水)～8月14日(月))
土偶(姥が沢遺跡出土土偶(市指定文化財)ほか4点)
新潟県十日町市立博物館 令和5年度秋季特別展「笑う縄文人 縄文人の喜怒哀楽」(8月21日(月)～12月16日(土))
民俗資料4点(防空頭巾・もんぺ ほか)
中野市立豊井小学校 (国語 ちいちゃんのかげおくりの学習のため)(9月11日(月)～9月15日(金))

・掲載等

柳沢遺跡青銅器埋納坑写真・同銅鐸集合写真・同銅戈集合写真
交通新聞社刊『旅の手帖』8月号「特集 信州」
姥ヶ沢遺跡出土土偶写真(正面1点、左側面1点、右側面1点、背面1点)・千田遺跡4区出土土偶 No.10 写真(正面1点、背面1点)・同遺跡8区出土土偶 No.46 写真(正面1点、背面1点)・同遺跡12区出土土偶 No.3 写真(正面1点、背面1点)・同遺跡12区出土土偶 No.5 写真(正面1点、背面1点)
十日町市立博物館 令和5年度秋季特別展「笑う縄文人 縄文人の喜怒哀楽」に係る展示パネル、図録、広報用
姥ヶ沢遺跡出土土偶写真(正面、背面、右側面、左側面各1点)
季刊誌『Owner's プラス』(発行元:エイブルネットワーク 株式会社 センデン、企画デザイン・印刷:株式会社プラルト)掲載

・閲覧

姥が沢遺跡出土土偶(市指定文化財)・千田遺跡出土土偶
6月21日(水) 十日町市立博物館
柳沢遺跡出土品 筒型土器(重文)・管玉・勾玉
11月29日(水) 石川県埋蔵文化財センター
柳沢遺跡出土 弥生土器
2月25日(日) 九州大学大学院生(博士課程)ほか10名

VI 運営・利用実績

1 運営

・開館時間	9時～17時 (4月～11月)
	10時～16時 (12月～3月)
・休館日	毎週火曜日(祝日は開館)
	年末年始(12月29日～1月3日)
・年間開館日数	309日
・年間休館日数	57日
・観覧料	
常設展示室	一般 300円(団体 240円) 高校生以下 150円(団体 120円)

プラネタリウム 一般 600 円(団体 480 円) 高校生以下 300 円(団体 240 円)
共通券 団体料金に準じる

※ 未就学児、市内小中学生・70 歳以上 無料

・広報なかの『博物館だより』 4 月号～3 月号

全戸配布

館行事の広報等

・キッズアカデミーチラシ 4 月～3 月

市内小学校及び各施設配布

キッズアカデミーの案内募集等

2 入館者・利用者 (4 月 1 日～3 月 31 日 開館; 309 日)

・常設展示室	2,453 人
・プラネタリウム	3,925 人
・研修室	124 人
・講座・講演等	880 人
・無料スペース	2,854 人
合計	10,236 人

中野市立博物館 年報 7

2023（令和 5）年度

〒383-0046

長野県中野市片塩 1221（北信濃ふるさとの森文化公園内）

TEL・FAX 0269-22-2005

<https://www.city.nakano.nagano.jp/categories/hakubutukan/>

Email hakubutsukan@city.nakano.nagano.jp

2024（令和 6）年 4 月 30 日発行